

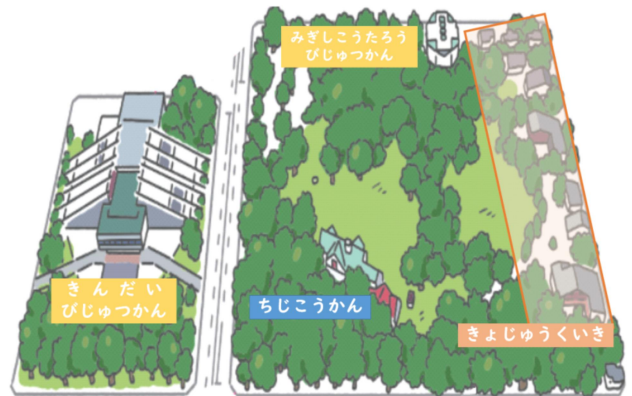
「知事公館・近代美術館エリア活用構想」素案の概要（やさしい版）

1 構想の名前

知事公館・近代美術館エリア活用構想

2 構想の目的

将来を見据えながら、エリア全体を一体的に使い、道民の皆様により親しまれ、誇りに感じてもらえる魅力あふれる場所とするため、この構想を取りまとめました。



3 構想の内容

この構想では、エリア全体の目指す姿やそれを実現していくためのそれぞれ施設の将来の姿などを書いています。

【エリア全体の目指す姿】

- 芸術や北海道の歴史・文化を身近に感じられる空間をめざします。
- みどり豊かな自然環境が保たれている空間をめざします。
- 誰もが心地よく過ごすことができる交流と憩いの空間をめざします。

【施設ごとの将来の姿】

施設等	将来の姿
① 知事公館	貴重な歴史的・文化的建物として今の姿のまま、道の行事やお客様のおもてなしの場として使われるなど、歴史を積み重ねています。
② 緑地	みどり豊かな環境や美しい風景を楽しむことができ、子どもから大人まで多くの方が訪れ、つながりや交流が生まれています。
③ 居住区域	緑地と一体となった自然環境の中、多くの方々の交流と憩いの場として親しまれています。

※近代美術館は、施設が古くなっていることや美術館の役割などの変化に対応するため、今の建物を活かしながら、改修工事などを行います。

【取組の推進】

- 関係部署や札幌市などとも協力し、具体化に向けた検討を進め、順番に実施します。
- 整備・改修は、専門家や民間企業の意見をもらいながら、計画を立てて、無駄のないように進めます。

4 意見の出しかた

スマホやパソコンなどで、かんたんに手続きができます。

URL : <https://www.harp.lg.jp/MtxnnrmX>



(QRコードは(株)デンソー登録製品です。)